



GREEN Rotary-Club



2012-2013年度 テーマ

国際ロータリー

「奉仕を通じて平和を」

R.I. 会長 田中 作次

地区方針

「心をひとつに」

R.I.2720 地区 ガバナー 岡村 泰岳

熊本グリーンR.C.

「絆を深めよう」

熊本グリーンR.C. 会長 山下 佳介

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 佳介 ■幹事：本田 悟士 ■会報担当：江上 泰弘
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー 第2720地区 **熊本グリーンロータリー・クラブ週報**

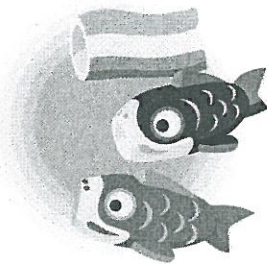
【2013年4月22日】

第1086回
2012-2013年度 第34回

【例会】

1.開会・点鐘 18:30

君が代
ロータリーソング
「奉仕の理想」



2.食事と交歓

来訪者紹介

熊本RC 立石 和裕 君
米山奨学生 曹 娥さん

友情の握手

会長スピーチ 山下 佳介 会長)

米山奨学生の 曹 娥(そうが)さん、ようこそ我がグリーンロータリークラブへ！これから毎月2回例会に参加されるとそうで、1年間宜しくお願いします。

昨日人吉での地区大会に参加された皆様、お疲れ様でした。いよいよ次年度のスタートという感じになってまいりました。

さて先週PET検査に初めて行って来ました。PET検査とは、全身のがんの殆どを3時間足らずで画像判断出来る検査で、費用が10万円から、フルオプションで17万円くらいかかる検査です。私は昨年のゴルフコンペの賞品が当たり、殆ど手出し無しで行く事が出来ました。幸いに何も見つかりませんでしたが、先生からの結果説明の時はちょっとドキドキしました。皆さんも自己検診で見

つかれば早期発見で助かる確率も非常に高くなりますので、是非受診してみてください。

それでは最後に言霊の紹介をします、今日は「人生の羅針盤」です。

羅針盤はいつも北を指して方位を示してくれています。だから迷う事はありません。しかし、人生で「迷う」ということは、一種の欲望からきているようです。「ああもなりたいたい、こうもなりたいたい、こういうふうに出世したい」という欲望から迷いが出てきます。それを捨て去れば問題はなくなるのです。自分のこのころの中にある羅針盤を掴んだ時、人は迷わなくなるのです。

幹事報告 河島 一夫 副幹事

■ 報告事項(その他のロータリー関係)
「2014年熊本市域17RC新春合同例会」のご案内(予告)

日時:2014年1月8日(水)12:30～
場所:ホテル日航熊本 5F「阿蘇」
ホストクラブ:熊本南ロータリークラブ

■ 例会取止め・変更
<変更>

【熊本東RC】
5月14日(火)の例会を、職場訪問の為、同日12:30より新聞博物館にて行います。

<取止め>

下記の例会は、定款第6条第1節に基づき、例会を取りやめます。

【熊本菊南RC】 5月1日(水)

卓話
予定

- 5/13 「新旧クラブ協議会」 ★今年度の委員会活動総括と次年度への引き継ぎ
- 5/20 十時義七郎会員卓話
- 5/27 「ホテル鑑賞例会」 ★例会変更 例会場所「亭の元」
- 6/3 「熊本グリーンローターアクト今年度活動最終報告」
★熊本グリーンローターアクトクラブとの合同例会

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

出席報告

松山 優喜
クラブ管理運営委員 (出席担当)



	会員総数	25名	出席率
4月22日	出席免除会員数	1名	69.57%
	計算上会員数	23名	
	出席会員数	16名	
4月8日	前回の出席会員数	19名	83.33%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	20名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
4/10 熊本江南RC 大友 君			

委員会報告

① 米山奨学生の紹介

報告者:米山カウンセラー 河島 一夫
2013年4月～2014年3月迄1年間我がクラブが米山奨学生のホストを引き受ける事になりました。先日米山オリエンテーションで顔合わせ会があり、本日初めてクラブに訪問されました。今後月2回、例会に訪問される予定です。皆様よろしくお願ひ致します。では、本人より、自己紹介をして頂きます。



*米山奨学生
崇城大学 工学研究科
応用生命学専攻
博士課程3年
曹 娥(そうが)さん
(国籍:中国)

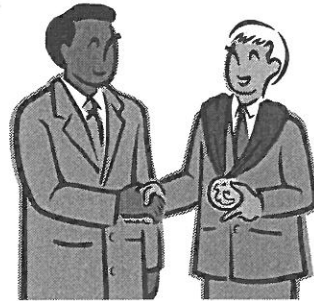
② 第3回「ほろニガ会」について

報告者:「ほろニガ会」世話人 河島 一夫 会員
日時:4月25日(木) 18:30～
場所:懐石「田しろ」
※只今23名の会員及びご家族の参加希望を頂いております。今までの会合で1番、参加者の多い会となりそうです。今からでも追加は出来ますので、参加希望の方はお申し出下さい。

その他の報告

前年度地区委員の2名へ
感謝状と記念品の授与

- *地区研修委員会副委員長 仙波 洋八会員へ
- *地区VTT委員会副委員長 大友 利行会員へ



スマイル

大友 利行 クラブ管理運営委員
(スマイル担当長)



- 山下 佳介 君
「米山奨学生の曹娥(そうが)さん、ようこそ我がクラブへ。1年間どうぞよろしくお願ひします。」
- 仙波 洋八 君
「地区協議会出席の皆さんご苦労さまでした。私は「クラブ管理運営委員会」に出席しました。入院中の脳を痛めたままの文書が地区方針であるかの扱いで資料となっていましたため不安です。本日の報告はその部分をコピーしてお配りしますのでお許し下さい。」
- 河島 一夫 君
「曹娥(ソング)さん、ようこそ我がクラブへお越し下さいました。1年間宜しくお願ひします。」
- 松村 秀逸 君
「先日の合同例会は急にお通夜があり、欠席しました。お詫びにスマイル致します。」
- 廣坂 彰雄 君
「昨日の地区協議会、どうしても出席が出来なく、蒼会員に無理にお願いしました。大変お世話になりました。ありがとうございました。」
- 葉 高源 君、栗山 義則 君、長野 義文 君、蒼 孝之 君、大友 利行 君
「熊本クラブの立石さんの御来訪大歓迎です。米山の曹娥さん、ようこそおいで下さいました。昨日の地区協議会はお疲れ様でした。人吉がぐんと近くなりました。江上さんの車に御世話になりました。」

3. 例会プログラム

地区協議会報告

- | | | | |
|-------------|---------|------------|---------|
| ①幹事部会 | 河島 一夫会員 | ⑥職業奉仕部会 | 大友 利行会員 |
| ②管理運営部会 | 仙波 洋八会員 | ⑦新世代部会 | 石浦 順一会員 |
| ③広報・IT部会 | 江上 泰弘会員 | ⑧ロータリー財団部会 | 荅 孝之会員 |
| ④会員増強部会 | 山下 佳介会員 | ⑨米山奨学部会 | 栗山 義則会員 |
| ⑤奉仕プロジェクト部会 | 田中 純司会員 | ⑩会長部会 | 山下 隆生会員 |



①幹事部会 河島 一夫会員



昨日21日の人吉での地区協議会では、午前8時に我がクラブの次年度会長山下隆生会員の車に栗山会員と三人で行きました。帰り着いたのは午後6時、お世話になりました。

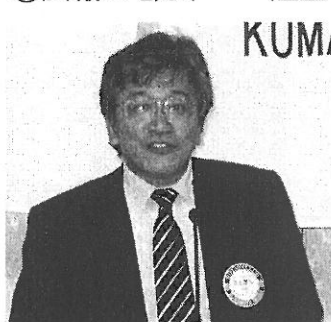
今回の地区協議会では、会長・幹事の部会では、これといった印象はありませんでした。ただ、基調講演をされた伊丹RCの深川純一地区パストガバナーの話の中で、「ロータリークラブは、奉仕をする団体ではありません。奉仕をする方々の集まりがロータリーなのです。その方々の社交クラブなのです。」という言葉が印象的に残っています。

②管理運営部会 仙波 洋八会員



1. クラブ戦略計画委員会の設置が遅れていますので、各クラブとも早急に設置してほしい、との要請が出されました。(大森仁志クラブ戦略委員長提起)
2. ロータリークラブの会員減少傾向が続いている中で、ロータリークラブの社会的評価や、日常活動の点検など、足元を見つめてみる必要があるかとの視点で具体例をあげて多くの指南がなされました。詳しくは当日配布された資料をコピーしてお配りしますのでご覧下さい。(松井葵之クラブ管理運営部門長提起)

③広報・IT部会 江上 泰弘会員



リーダー:大分臨海RC 片山 勇氏
アドバイザー:八代RC 緒方基一パストガバナー
緒方パストガバナーの「93 歳なのでITのアドバイスはできません」の挨拶で和やかな雰囲気が始まりました。
ほとんどの時間が、アップル社のiPad のメリットと使い方の説明で終わりましたが、クラブ内における広報・IT 委員会の役割は

- ① クラブ独自の活動の発信
- ② IT を利用したクラブ内におけるネットワークの構築
- ③ 会員増強に利用する

この3つのようなようです。どんな情報をどうやって発信するかを委員会で検討していきたいと思います。

④会員増強部会 山下 佳介会員



- ・世界の会員が7年間で100万人入会して100万人退会して横ばい状態なので退会防止も重要である。
 - ・日本のロータリアンの年齢構成が30歳代が2%、40歳代が15%、50歳以上が81%なので若い会員が必要である。
 - ・SAKUJI 作戦の実行、継続。
 - ・米山学友をロータリアンとしてEクラブに迎えること。
- 2012年6月2日 27名にて東京米山ロータリーEクラブ2750設立
・2720地区現在72名の純増。

⑥奉仕プロジェクト部会 田中 純司会員



去る4月21日に人吉の人吉カルチャーパレスにおいて行われ、山下隆生会長エレクト他次期各委員長の皆様と出席してまいりました。

2013～2014 年度国際ロータリー第2720 地区の「地区協議会」出席の報告をいたします。

全体会議は10時から行われ、昼食後の第2680 地区パストガバナーの深川純一様による「ロータリーの魅力」という演題の講演があり、その後部門別協議会が2時から約1時間40分開催され、私は創造的奉仕プロジェクト部門に出席しました。

前半は創造的奉仕プロジェクト部門とロータリー財団部門の合同で主にロータリー財団の地区補助金のポイントについての説明でした。

現状は

	今年度	次年度
クラブ数	6クラブ	41クラブ
総予算額	222 万円	2453 万円
補助枠	181 万円	580 万円



次年度は、総予算額の圧縮が必要になりそうだとのことでした。

補助の基準は、ロータリー財団の使命に関連していることで、人道・環境保全・教育的なもの等で、ロータリアンが積極的に関与することが求められます。

また、対象にならないものや2720 地区の基準に合わないものは、補助できないそうです。

次々年度については、会長エレクトを中心に早めの(2月ごろ)補助金申請の準備をする様に要請がありました。

年次基金を現行の100 ドル/人から150 ドル/人への増額の要請もありました。寄付金の1/4 が地区で使えるが、当然ながら各クラブにおいて寄付額以上の補助金はないそうです。

奉仕プロジェクトで補助金が見えるのは、国際奉仕・社会奉仕・職業奉仕・新世代奉仕があります。

後半の創造的奉仕プロジェクト部門では、ブライダル少子化対策委員会についてが主で、6月15 日にお見合いパーティーが開催されるとのことで、協力の要請がありました。

⑥職業奉仕部会 大友 利行会員



リーダーに熊本クラブの門垣さん、サブリーダーに玉名クラブの中嶋さん、カウンセラーに本田PGでした。職業奉仕はロータリーを最も特徴づける奉仕部門で、ただ自分の職業を一生懸命やるというだけでなく、職業が社会に奉仕する手段として考えられて来ました。

だからこそ高い職業倫理をめざしました。四つのテストやロータリーの職業宣言に、ロータリーの職業奉仕の理念が出ています。1時間半の研修では、四つのテストをどう徹底しているか、10月の職業奉仕月間をどう生かしているかなど、出席者全員の発言を依頼されました。社会奉仕と混同している発言や、ただ奉仕の数を言う人や、不況の時代で、業績不振で、職業奉仕どころでは無いとの発言がありました。しかしこれらに適切なアドバイスがなく、ロータリアンとして如何なものかと思われました。職業奉仕の思想を何に生かしていくかには工夫がいります。

⑦新世代部会 石浦 順一会員



当地区の現状と致しまして現ガバナーであります岡村ガバナーがアクト出身者という事もあり今年度は例年以上にアクトの活動が注目された年度となりました。

その結果当地区において新たに玉名ローターアクトが設立されるなどの効果もあり当地区は今現在九州で一番の会員数となりました。

しかしながら、個々のクラブ運営事情を分析しますと会員数の減少、クラブ数の減少というマンネリ化した不安材料はまだまだ否めない状況であります。



次年度当地区活動方針と致しまして

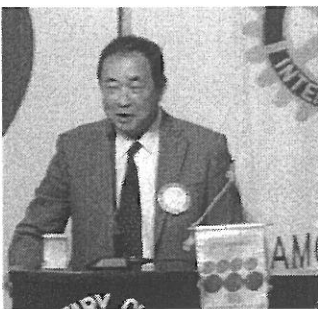
1. 会員増強、退会防止
 1. 提唱ロータリークラブとの交流の活性化
 1. 提唱ロータリークラブとの合同奉仕の推奨
- というような内容となっておりますが

我がクラブにおいては各項目当然ながら通常認識しており目新しさは感じませんでした。

岡村ガバナーがアドバイザーとして同席されておりまして最後の挨拶時今後のアクト活動について各クラブが同じような事を実践するのではなく独自のonly one アクションを起こしさらにはそれが地域でナンバー1の活動に繋がるようにして欲しいとの強い要望がありました。

我がクラブは地区内においては他クラブと比較しても一定の活動評価を頂いていると感じておりますが次年度は岡村ガバナーが求められているような活動を新たに誕生させ地区の手本となり結果として地区全体の活性化に繋がるようアクト運営を目指して参りますので今後もロータリアンの皆様の一層のご協力を宜しくお願い申し上げます。

⑧ロータリー財団部会 菅 孝之会員



ロータリー財団部会では、地区の補助金の受け方の説明がありました。補助金を受けるにはまず、「ロータリー財団セミナー」に参加する事が条件となっており、それに参加しないと受ける資格が無くなるとの事でした。

又、「ロータリーカード」というマスターカード(クレジットカード)を会員の皆様に推奨して下さいとの事でした。そのカードの使用額によって貰えるポイントがロータリー財団の寄付金なるそうです。



⑨米山奨学部会 栗山 義則会員



米山部会では、ロータリー米山記念奨学事業の豆知識を山田部門リーダーが丁寧に説明されました。

又、2720地区では普通寄付金は5,000 円/1 人に満たないクラブがあり、早々に5,000円になる様努力して下さいと言われました。我がクラブでは6,000 円ですが、特別寄付金が0円ですのでこちらを出来るだけ努力して下さいとの事です。



⑩会長部会 山下 隆生会員



協議会報告の前に、前日の大分1985 ロータリークラブとの親睦会のお話を致します。

先日行われた会長エレクト研修のおり、知り合いとなり地区協議会前泊を熊本市でしたいという話から土曜日に当クラブ四人と大分1985 ロータリークラブ5 名とで親睦の宴をしました。先方のクラブ人数は14 名ほど、年齢も70 代以上が半数と厳しい状況のようです。

今回の会長エレクトも三回目だそうで、ほとんどローテーションのように回ってくるようです。

私が知り合いになった幹事の方は、40 代で、ロータリー歴は10 ヶ月ということでした。いろんな出会いが今後の会長になってからの楽しみの一つにもなるでしょう。

協議会報告で、会長、幹事部会は、ほとんど予算関係の話で、会長エレクトの皆さんは、先日の研修で学んだことを実践するという事だからなのかもしれません。よって全体会議で、感じた講演についてご報告いたします。

今度のガバナー訪問は、第三グループまとめて9月20日に行われるようです。どのような内容かは話には出ませんでした。会長幹事会でいろいろ煮詰めるようになると思います。

来年の地区大会のお話もありました。今回は人吉で初めて開催されるということで、キャパの問題や講演やイベントの把握などを早めに決めて皆様に喜ばれる年度にしたいというガバナーエレクトのお気持ちが伝わってまいりました。

赤山ガバナーエレクトのお話で、RI 会長テーマ「ロータリーを实践しみんな豊かな人生を」から始まり第2720 地区スローガン「挑戦！未来の夢！」：良き友を得てロータリーを学びに至る過程もよく解り「ロータリーの魅力の探求」友情、ビジネスへの発展につながりロータリーの魅力を再発見することにより楽しく、活気あるクラブ作りができるのであるそうです。

もうひとつ、ロータリーの魅力をより一層感じるために「私の心に残るロータリー体験」の時間を設ける事も自他ともに学ぶことになるようです。我が年度には、この事を実践し魅力あるクラブ作りの一環にしたいと感じました。

また、基調講演「ロータリーの魅力」RI 第2680 地区パストガバナー深川純一さんの話も弁護士であるゆえか、ゆっくりではあるけど、きびしいご意見と感じました。ロータリークラブの例会は社交クラブであり奉仕クラブでは無いと言う考え方や、親睦のロータリーならではの必要性など新鮮な思いも感じました。深川パストガバナーが、ロータリーに入会して感動した話で、メイキャップで来られた方が、一分遅刻したことで、メイキャップではなく最後まで出席されたのを見てロータリー精神の素晴らしさを感じたとの事。ロータリー会員獲得においては、一業一会員やクラブの自治権などにより先見性の取得による対人関係を上手くやって行くことの必要性の確立。つまり単なる増強だけでなくロータリーの魅力を維持するための手段の一つだとお話されました。

今回の色々な話で、魅力あるクラブ、ロータリーを学び奉仕を实践しようという意味も分かってきたように思えます。

早速今回の地区協議会を土台にして来年度の我がクラブの方針などを推し進めて行きたいと思えます。

会員増強のための4つの試験的プログラム

1. 準会員

正会員の義務や権限すべてを持たずに、一定期間に試験的にクラブの会員となる。

2. 法人会員

地元の法人や会社がロータリー・クラブ会員となり、指定された被雇用者4名までが例会に出席する。

3. 革新性と柔軟性のあるクラブ

クラブ会員と地域のニーズにふさわしいクラブ運営を独自に決定する裁量が与えられる。

4. 衛星クラブ

1週間の間に異なる場所、曜日、時間に、複数回の例会を行うことが認められる。

* 詳細情報は次回へ続く。